

ニチバングループのあゆみ

ニチバンはコア技術である「粘着」の分野を原点として幅広く製品を展開し、長い年数をかけてブランドを築いてきました。1918年、東京・南品川にて「歌橋製薬所」として創業。軟膏・硬膏、絆創膏の開発・製造からスタートし、現在でも幅広くご愛顧いただいている「セロテープ®」をはじめとする、「人々の快適な暮らしに寄り添うサステナブルな製品」をお届けしております。

企業の動き

1918年 「歌橋製薬所」創業

東京・南品川に「歌橋製薬所」を創業。軟膏・硬膏などの製造をスタート。この工場がニチバングループの原点となる。



1934年 株式会社歌橋製薬所設立

需要増に対応するため歌橋製薬所を個人経営から法人組織として設立。



1944年 日絆工業株式会社に社名を変更

全国の絆創膏製造業者25社が歌橋製薬所を中心会社として統合。同年9月に「日絆工業株式会社」と社名を変更。



1961年 社名をニチバン株式会社に変更

東京・大阪両工場の新鋭生産設備を整備拡張し、社名を現在のニチバン株式会社と改称。



1967年 安城工場を設置

「セロテープ®」などの需要が増大し、生産増強のために愛知県安城市に新工場を設置。



1972年 埼玉工場を設置、 東京工場より移転

東京工場周辺の宅地化が進み、工場拡張・設備増設が困難となってきたため、同工場を埼玉県日高町(現日高市)に移転。



1976年 大鵬薬品工業株式会社 資本参加

オイルショックと東京工場移転に端を発する労使問題で経営不振に陥り、大鵬薬品の資本参加を受けて経営を再建。

2017年 タイ・バンコクに NICHIBAN (THAILAND) CO.,LTD. 設立

2014年にタイ・バンコクに駐在員事務所を開設、その後、2017年に販売会社を設立。



2018年 創業100周年

創業100周年に向け、2011年度から8年間の中長期経営計画【NB100】を策定・推進し、さまざまな事業を展開。



2018年 メディカル安城工場を設置、 大阪工場より移転

医薬品生産拠点である大阪工場は周辺の住宅化が進み、工場運営が限界となり、安城事業所の敷地内に研究所と合わせ新工場を設置。



2020年 ドイツ・デュッセルドルフに NICHIBAN EUROPE GmbH 設立

2019年にドイツ・デュッセルドルフに駐在員事務所を開設、翌年に販売会社を設立。



1910年—

1932年 「ロイヒ膏」販売開始

ロートエキスとイヒチオールを主成分とした鎮痛消炎貼付剤。販売は好調だったが、戦時中は原料不足のため製造を中止。



1940年—

1948年 「セロテープ®」市販開始

検閲後の封筒を封かんするためのテープの調達先として、絆創膏製造で実績があった当社に打診される。



1966年 「ナイスタック™」発売

文具業界向けに両面紙粘着テープを発売。



1970年—

1978年 「たばねら™ テープ」 「たばねら™」発売

当時、野菜の結束には藁や輪ゴムなどが使われており「テープで結束することはできないか」との想いから開発。



1989年 「ロイヒつぼ膏™」発売

それまでは冷感タイプが中心だった鎮痛消炎貼付剤の市場に向けて、温感タイプに特化した小型丸形プラスターを発売。



1997年 救急絆創膏「ケアリーヴ™」 発売

「高品質」をキーワードとした新製品の開発に着手。貼っていても違和感がなく、素肌に近い感触を実現。



2000年—

2011年 「カテリープラス™」発売

透湿性が高いウレタンジェル粘着剤を採用し、皮膚への優しさや剥がれにくさを両立する医療用の高透湿性フィルムドレッシングを発売。



2012年 「ケアリーヴ™ 治す力™」発売

特殊素材を使った「モイストパッド™」が傷口から出る体液を吸収・保持し、皮膚を早くきれいに再生する絆創膏を発売。



2015年 キッチン雑貨ブランド 「Dear Kitchen™」誕生

「手で簡単に切れ、貼ってはがせる水に強いフィルム素材のテープ「Dear Kitchen™ ワザアリ™ テープ」を発売。



2016年 手術後の傷あとケア専用テープ 「アトファイン™ (Atofine™)」 発売

外科手術後の傷あとを保護し、目立つ傷あとになることを予防する絆創膏を発売。



製品の動き

世界の流れ 第一次世界大戦 (1914~1918)

第二次世界大戦 (1939~1945)

高度経済成長期 (1955~1973)

オイルショック (第1次:1973/第2次:1978)

元号を平成に改元 (1989)

東日本大震災 (2011)

元号を令和に改元 (2019)